

# 令和2年度学校自己評価システムシート (県立熊谷農業高等学校)

目指す学校像	命を育み知を磨く学舎づくり (農業各分野の担い手・技術者と、地域を担う人材の育成)
--------	-------------------------------------------

重点目標	1 授業や教育活動をとおして学習意欲を向上させ、基礎学力の定着と学力の向上を図る。 2 社会人として必要な基本的内容を身に付けさせ、評価される人材を育成する。 3 計画的に効果的な指導を行い、生徒の進路希望を実現させる。 4 地域と連携した活動を行い、地域から信頼される学校作りを推進する。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番 号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	本校には、幅広い学力層の生徒が入学している。また中学校まで、目立たない存在であった生徒も多数入学している。 欠点保有者が増加傾向にあり、学期ごとの追試験を実施するが、欠点が解消できない生徒も見られる。 学ぶ意欲を向上させ、基礎学力の定着を図り、個々の生徒の学力を伸ばしていく。また、生徒に多くの経験を積ませたり、活躍の場を与えることにより、主体的な取組につなげ、様々な分野の学力の向上を図っていく。	○各教科及びHRで個々の生徒の状況把握	①担当授業等の単元や実習項目ごとの評価指標を設定し、個々の生徒の理解度・到達度を把握する	①生徒が理解できていること・できていないことなどを把握できたか		
		○生徒の興味関心を高める授業の実施	①生徒に興味関心を持たせる授業計画・組み立てを各教員が再考し実践する ②授業公開を2回以上設定し、教員同士が授業を見せ合い、授業研究を行う ③学習の取組や習得が芳しくない生徒には、日常的に細かな指導を行い、欠点をとらせないようにする	①授業アンケートで満足度が高まったか ②他の教員の授業を見て、教員同士の授業研究が行えたか ③欠点保有者(欠点の解消後)が減少したか		
		○生徒の主体的な運営	①学校農業クラブ活動や学校家庭クラブ活動を計画的に行い、役員生徒が中心となって取り組ませる ②生徒会等に関する行事を生徒が中心となって運営し、充実して実施する	①学校農業クラブ活動、学校家庭クラブ活動が、役員生徒が中心に取り組めたか ②生徒会行事の運営が生徒が中心となって行えたか		
2	これまでの継続的な指導により、頭髮・服装の乱れ、遅刻者は減少している。しかし、指導されないといけない生徒も見受けられる。また社会人に求められる、挨拶、服装、言葉遣い、時間を守る、清掃の取組、率先した行動、他者への配慮等が十分身につけていない者もいる。 今後、社会を形成する一員として、自己管理能力や他者を思いやる気持ちを身に付けさせていく。	○時間厳守の徹底と自己管理能力の向上	①授業や行事等を定刻で開始し、チャイム着席を励行する。また、立哨指導と「遅刻入室カード」により遅刻の多い者を把握し、個別に指導する ②正しい服装で学校生活を過ごさせるよう、服装指導を行う	①遅刻者が減少したか ②服装違反の生徒が減少したか		
		○心の教育の充実	①動・植物を扱う本校の特長を活かし、学校全体で思いやりを育む教育を推進する ②特別な配慮を必要とする生徒の情報を共有し、組織的に対応を行う	①いじめが無かったか ②特別な配慮を必要とする生徒の対応が組織的に行えたか		
3	卒業後の進路について、早い段階から明確な目標を持っている者が少なく、自己理解が不十分な生徒もいる。進路未決定で卒業する者もいる。 進路行事を効果が上がるよう計画的に設定し、生徒の情報を共有し、組織的に指導していく必要がある。	○進路希望の実現	①生徒に意識付けを行い、受験先の情報収集と合格のための準備を行わせる ②計画的で効果的な進路行事を設定し、指導を行う ③就職支援アドバイザーを含め学校全体で3年生の面接指導、論文指導、補講等を行い、合格に向けた適切なアドバイスを行う	①受験する先について、生徒が十分情報収集したか ②進路希望が実現したか ③組織的な進路指導が行えたか		
		○学習内容に関する進路の増加	①農業関係や外部連携事業等に積極的に生徒を参加させる ②生徒の興味を高める授業・取組を行う	①農業・関連産業等、学習内容に関する進路が増えたか		
4	本校は、施設・設備を活かした特色ある教育活動を実施している。県事業等の指定による外部専門家との連携や学校独自で地域の異校種との連携・交流も行っている。 これら本校の特徴ある教育活動が外部に対して十分発信されていない。地域や中学校に本校が一層理解されるよう広報活動を進めていく。	○学校情報の積極的な提供	①HPに本校の基本情報を掲載し、それを定期的に見直し又は加筆し、新しい情報を提供・発信する ②頑張っている生徒や学校の状況を紹介する資料を作成し、中学校に配布するなど積極的に発信する	①HPに本校の最新の基本情報を掲載し話題をその都度発信できたか ②学校紹介資料を作成・配布できたか		
		○目的意識の高い志願者の確保	①中学校の説明会・学校訪問、高校見学、体験入学等の機会に、積極的に本校の良さをPRする ②中学校への積極的な働きかけを行う	①本校の中学生向け行事に参加した中学生が志願してきたか ②本校への志願者が増えたか		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

